

平成28年度四国ブロック町村教育長協議会 祝辞

平成28年8月26日(金)
にぎたつ会館

平成28年度四国ブロック町村教育長協議会の開催をお喜び申し上げますとともに、四国各地から遠路御来県いただきました皆様を心から歓迎いたします。また、皆様方には、それぞれの町村におきまして、教育行政の推進に御尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、昨年4月の教育委員会制度改革に係る改正法の施行から、1年半近くが経過しました。本県におきましては、昨年5月、「愛顔でつなぐ学びの未来」との副題を付けた「愛媛県教育振興に関する大綱」を策定し、「学校・家庭・地域が愛顔でつながり、一体となって、社会総がかりで子どもたちの明るい未来を拓いていく」との思いを込めて、市や町、関係団体等との連携を図りながら、本県の教育振興に取り組んでいるところです。

御案内のとおり、社会情勢の変化が目まぐるしく、先の見通しを持ちにくくなっております中、子どもたちには、現下の課題を乗り越えて地域社会を築いていく、たくましい力を身に付けてほしいと考えています。その力を育むためには、知識・技能の習得だけでなく、自ら課題を見だし、その解決に取り組むというアクティブ・ラーニングの経験を積み重ねていくことが必要です。愛媛県教育委員会では、このアクティブ・ラーニングを推進するため、今年度から10の高校を拠点校として位置付け、実践的な研究を進めていくこととしております。人は一生学び続ける存在であります。生徒と教師が学び合っていく、「心おどる学び合いの旅」にいざなうような教育を実現するために、積極的に支援していきたいと考えております。

また、国におきましては、教育制度に関して大きな動きが続いており、本年4月1日から、地域の実情に応じた柔軟な取組を可能とするため、小中一貫教育を行う義務教育学校の設置が可能となりましたほか、小学校からの英語教育の充実、高校・大学の接続の在り方、道徳教育の充実など、様々な教育改革が進行中でありまして、今後とも、皆様方との連携を密にし、国の動きを注視しながら、より良い改革となりますよう、教育現場の声の反映に努めてまいりたいと考えております。

本日は、この後、学校の統廃合と連携をはじめとする様々な課題に関する研究協議や講演などが行われると伺っておりますが、どうか活発な意見交換を行っていただきますよう期待申し上げます。

終わりに、四国ブロック町村教育長協議会の益々の御発展と、本日御出席の皆様方の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。